

主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	教育委員会事務局
	19114A	情報教育推進事業(小学校)	室名	教育研究室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	会計	01:一般会計
	基本施策	01:子どもたちの学びと健全育成	款	10:教育費
	施策の方向	05:時代に即した教育の推進	項	02:小学校費
	戦略プロジェクト	04:子ども輝きプロジェクト	目	02:教育振興費
事業予定期間	H 19 ~ H - 年度		主な根拠法令要綱等 教育の情報化ビジョン	

② 目的・概要	対象	小学校の児童
	目的	21世紀にふさわしい学びの実現を図るため、従来の一斉授業に加えて、ICT機器を活用した教員と児童生徒が、共に学びあう協働学習を推進する環境を整える。
概要	平成28年度教育に関連するサーバー等の更新を行うことで、学校内ネットワークを整えるとともに、平成21年度に整備された教員一人一台の校務用コンピューター等の更新を行う。	

		平成27年度	平成28年度		
③ 年度別事業計画	事業の計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT支援員の配置 ○亀山市小中学校情報教育検討委員会の開催(年4回) ○先進校視察・セミナー・研究発表会への参加 ○ウィルス対策・フィルタリングソフトの導入 ○教科書改訂に伴う指導用デジタル教科書の整備 ○平成23年度パソコン教室導入機器等の管理(亀山西小学校ほか8校分) H23.9.1~H28.8.31 		<ul style="list-style-type: none"> ○ICT支援員の配置 ○セミナー・研究発表会への参加 ○ウィルス対策・フィルタリングソフトの活用 ○教科書改訂に伴う指導用デジタル教科書の整備 ○平成23年度パソコン教室導入機器等の管理(亀山西小学校ほか8校分 H23.9.1~H28.8.31) ○校務用PCの更新 ○校務用サーバーの賃貸借(H28.9.1~H33.8.31) 	
		事業費	32,600千円	71,100千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源	32,600千円	71,100千円	
		事業費	32,597千円	43,289千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
地方債					
その他					
一般財源	32,597千円	43,289千円			
期間内総事業費(H27・H28)①		103,700千円	期間外事業費(H29以降)② -	総事業費 (①+②) -	

		平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)
④ 指標	①	名称	情報収集能力が身についた児童の割合	
		補足	ICT機器を使って情報を集めることができる児童数/全児童数(小学校3,4年生)	成果
	計画値	95	98	100
	単位	%	%	%
②	名称	情報活用能力が身についた児童の割合		
	補足	ICT機器を使って得た情報や考えを相手に分かりやすく伝え(まとめ)られる児童数/全児童数(小学校6年生)	成果	
計画値	80	85	90	
単位	%	%	%	
③	名称			
	補足			
計画値				
単位				
④	名称			
	補足			
計画値				
単位				

事務事業評価シート

H28(主要事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	教育委員会事務局
	19114A	情報教育推進事業(小学校)	室名	教育研究室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 01:一般会計
	基本施策	01:子どもたちの学びと健全育成	務	款 10:教育費
体系	施策の方向	05:時代に即した教育の推進	科	項 02:小学校費
	戦略プロジェクト	04:子ども輝きプロジェクト	目	目 02:教育振興費

② 目的・概要	対象	小学校の児童
	目的	21世紀にふさわしい学びの実現を図るため、従来の一斉授業に加えて、ICT機器を活用した教員と児童生徒が、共に学びあう協働学習を推進する環境を整える。
概要	平成28年度教育に関連するサーバー等の更新を行うことで、学校内ネットワークを整えるとともに、平成21年度に整備された教員一人一台の校務用コンピューター等の更新を行う。	

		27年度	28年度
①	名称	情報収集能力が身についた児童の割合	計画値 95
	補足	ICT機器を使って情報を集めることができる児童数/全児童数(小学校3,4年生)	実績値 91
			単位 %
②	名称	情報活用能力が身についた児童の割合	計画値 80
	補足	ICT機器を使って得た情報や考えを相手に分かりやすく伝え(まとめ)られる児童数/全児童数(小学校6年生)	実績値 88
			単位 %
③	名称		計画値
	補足		実績値
			単位
④	名称		計画値
	補足		実績値
			単位

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT支援員の配置 ○セミナー・研究発表会への参加 ○ウイルス対策・フィルタリングソフトの活用 ○教科書改訂に伴う指導用デジタル教科書の整備 ○平成23年度パソコン教室導入機器等の管理(亀山西小学校ほか8校分 H23.9.1~H28.8.31) ○校務用PCの更新 ○校務用サーバーの賃貸借(H28.9.1~H33.8.31) 				<ul style="list-style-type: none"> ○ICT支援員の配置 ○セミナー・研究発表会への参加 ○ウイルス対策・フィルタリングソフトの活用 ○教科書改訂に伴う指導用デジタル教科書の整備 ○平成23年度パソコン教室導入機器等の管理(亀山西小学校ほか8校分 H23.9.1~H28.8.31) ○校務用PCの更新 ○校務用サーバーの賃貸借(H28.9.1~H33.8.31) 			
	事業費		計画額	予算額	人件費	総人件費 ①	732	平均給与額×③
		事業費	71,100	43,289		一般職員人件費 ②	732	
		国庫支出金		0		所要人員 ③	0.10	
		県支出金		0		臨時職員人件費 ④	0	
		地方債		0		受益者負担額 ⑤		
		その他		0		受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
	一般財源	71,100	43,289	42,095				
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額		0				
	総人件費		①	732				
	総コスト		⑥	42,827				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	指導者用デジタル教科書の整備、ICT支援員の増員により、パソコン教室及び普通教室のICT活用機会が増加し、児童の情報活用能力や情報モラルを高める授業の実践が図られた。また、校務用パソコンの老朽化に伴い、校務用サーバーと合わせて更新を行うことにより、セキュリティ面での強化が図られた。今後求められる「教育の情報化」に対応するため、先進校視察・セミナー・研究発表会への参加により今後の機器導入の方向性に関する情報収集を行うことができた。	総合判定 A 順調に進んだ
	【反省点・課題】	全ての小学校において教育用パソコンのリース期間が終了した。引き続き使用している教育用パソコンは、平成32年1月にOSによるサポート体制が切れ、脆弱性が高まる。今後、更新を実施していくか否かを検討する必要がある。 ・国が示す「教育の情報化」に対応するICT環境整備が課題である。	
	【改善の方向性】	・国が示す「教育の情報化」に対応するICT環境整備に合わせ、教育用可動式パソコンを導入する。 ・平成30年度の前期には今後、教育用パソコンの更新を実施していくか否かの方向性を示す。 ・導入機器を活用するための研修会を行う。	
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 教育研究室長 徳田 浩一